

美術科 2026入学者用カリキュラム表

基礎科目【全学共通】		授業区分	区分要件	対象年次	卒業要件
環境・地域	芸術平和学	講義	2単位 必修	1	30単位以上
	東北文化論	講義	2単位	2 3 4	
	まちづくり論	講義	2単位	2 3 4	
	クリエイティブ・ローカル論	講義	2単位	2 3 4	
	地球環境論	講義	2単位	2 3 4	
	持続可能な地域論	講義	2単位	2 3 4	
	地域創造演習	演習	2単位	2 3 4	
ICT	ICTリテラシー	演習	2単位 必修	1	2単位以上
	AIテクノロジー論	講義	2単位	2 3 4	
	ICTと社会	講義	2単位	2 3 4	
社会力	スタートアップゼミナール	演習	2単位 必修	1	6単位以上
	デザイン思考基礎	講義	2単位	2 3 4	
	生活と経済	講義	2単位	2 3 4	
	キャリア形成論	講義	2単位 必修	2	
	仕事講座	講義	1単位	2 3	
	キャリア設計論	講義	1単位	3 4	
	スポーツ実技	実技	1単位	1 2 3 4	
	就業実習	実習	1単位	1 2	
	インターンシップ	実習	1単位	2 3	
人文社会	現代社会学	講義	2単位	1 2 3 4	4単位以上
	社会と政治	講義	2単位	2 3 4	
	倫理と社会	講義	2単位	2 3 4	
	日本国憲法	講義	2単位	1 2 3 4	
	知的所有権	講義	2単位	2 3 4	
	地理学概論	講義	2単位	2 3 4	
自然科学	健康科学論	講義	2単位 必修	1 2 3	4単位以上
	アートデザインのための数理	講義	2単位	2 3 4	
	データの科学	講義	2単位	2 3 4	
	環境と心理	講義	2単位	2 3 4	
	生物と自然	講義	2単位	2 3 4	
	線形代数	講義	2単位	2 3 4	
グローバルコミュニケーション	多文化理解	講義	2単位	2 3 4	2単位以上
	ENGLISH 101	演習	2単位	1 2 3	
	ENGLISH 102	演習	2単位	1	
	日本語 1 ※留学生のみ	演習	2単位	1	
	Presentation in ENGLISH	演習	1単位	2 3 4	
	Communicative ENGLISH	演習	1単位	2 3 4	
	Academic ENGLISH	演習	1単位	1 2 3 4	
	Practical ENGLISH (for TOEIC test)	演習	1単位	1 2 3 4	
	日本語 2 ※留学生のみ	演習	2単位	1	
	総合芸術概論1	講義	2単位 必修	1	
総合芸術概論2	講義	2単位	1 2 3 4		
美術史概論	講義	2単位	1 2 3		
デザイン史概論	講義	2単位	1 2 3		
色彩学概論	講義	2単位	1 2 3		
立体造形基礎論	講義	2単位	1 2 3		
編集ディレクション演習	演習	2単位	2 3 4		
絵画・デッサン	演習	2単位	1 2 3		
アート&デザインコア科目	日本美術史	講義	2単位	文保	4単位以上
	西洋美術史	講義	2単位	文保	
	近現代美術史	講義	2単位	美術	
	文化財保存修復入門	講義	2単位	文保	
	文化遺産マネジメント	講義	2単位	文保	
	歴史遺産学総論	講義	2単位	歴産	
	日本建築史	講義	2単位	歴産	
	西洋建築史	講義	2単位	歴産	
	考古学概論	講義	2単位	歴産	
	民俗・人類学概論	講義	2単位	歴産	
	地誌学概論	講義	2単位	歴産	
	アジア文化論	講義	2単位	歴産	
	工芸デザイン入門	講義	2単位	工芸	
	文芸総論	講義	2単位	文芸	
	思想と文学	講義	2単位	文芸	
	プロダクトデザイン入門	講義	2単位	プロ	
	インテリアデザイン論	講義	2単位	プロ	
	応用人間工学	講義	2単位	プロ	
	建築デザイン論	講義	2単位	建環	
	都市空間デザイン	講義	2単位	建環	
	生活とグラフィックデザイン	講義	2単位	グラ	
	映像文化史	講義	2単位	映像	
	メディア文化史	講義	2単位	映像	
	サステナブルデザイン入門	講義	2単位	企画/食文化	
	地域デザイン入門	講義	2単位	企画/食文化	
	ブランド・マーケティング入門	講義	2単位	企画/食文化	
	広告表現入門	講義	2単位	企画/食文化	
	商品開発・店舗プロデュース入門	講義	2単位	企画/食文化	
	事業計画入門	講義	2単位	企画/食文化	
	インターネットビジネス論	講義	2単位	企画/食文化	
	現代幸福論	講義	2単位	地域	
	クリエイター起業論	講義	1単位	共通	
	クリエイター起業ゼミナール	演習	1単位	共通	
イノベーションプロジェクト	演習	1単位	共通		
(単位互換科目)					

※網掛け科目は除く

学科科目	授業区分	区分要件	対象年次	卒業要件	
美術必修	美術概論	講義	2単位 基礎	1	26単位以上
	美術素材学	講義	2単位 基礎	1	
	近現代美術史	講義	2単位 基礎	2	
	アート展示概論	講義	2単位 基礎	2	
	アートキャリア論	講義	2単位 応用	1科目 3 4	
	アーティストマネジメント	講義	2単位 応用	2単位 3 4	
	美術基礎演習1	演習	2単位 基礎	1	
	美術基礎演習2	演習	6単位 基礎	1	
	コミュニケーションデザイン演習	演習	2単位 基礎	2	
	セルフプロデュース演習	演習	2単位 基礎	2	
	アートメディア演習A	演習	2単位 応用	3	
	アートメディア演習B	演習	2単位 応用	3	
	日本画必修	日本画基礎演習1	演習	4単位 基礎	
日本画基礎演習2		演習	6単位 基礎	1	
日本画基礎演習3		演習	6単位 基礎	1	
日本画演習1		演習	6単位 基礎	2	
日本画演習2		演習	6単位 基礎	2	
日本画演習3		演習	4単位 基礎	2	
日本画演習4		演習	4単位 基礎	2	
日本画演習5		演習	4単位 応用	3	
日本画演習6		演習	4単位 応用	3	
日本画演習7		演習	4単位 応用	3	
日本画演習8		演習	4単位 応用	3	
日本画研究1		卒研	4単位 発展	4	
日本画研究2		卒研	6単位 発展	4	
洋画必修	洋画基礎演習1	演習	4単位 基礎	1	62単位
	洋画基礎演習2	演習	6単位 基礎	1	
	洋画基礎演習3	演習	6単位 基礎	1	
	洋画演習1	演習	6単位 基礎	2	
	洋画演習2	演習	6単位 基礎	2	
	洋画演習3	演習	4単位 基礎	2	
	洋画演習4	演習	4単位 基礎	2	
	洋画演習5	演習	4単位 応用	3	
	洋画演習6	演習	4単位 応用	3	
	洋画演習7	演習	4単位 応用	3	
	洋画演習8	演習	4単位 応用	3	
	洋画研究1	卒研	4単位 発展	4	
	洋画研究2	卒研	6単位 発展	4	
グラフィックーツ必修	版画基礎演習1	演習	4単位 基礎	1	64単位
	版画基礎演習2	演習	6単位 基礎	1	
	版画基礎演習3	演習	6単位 基礎	1	
	版画演習1	演習	6単位 基礎	2	
	版画演習2	演習	6単位 基礎	2	
	版画演習3	演習	6単位 基礎	2	
	版画演習4	演習	6単位 基礎	2	
	版画演習5	演習	4単位 応用	3	
	版画演習6	演習	4単位 応用	3	
	版画演習7	演習	4単位 応用	3	
	版画演習8	演習	2単位 応用	3	
	版画研究1	卒研	4単位 発展	4	
	版画研究2	卒研	6単位 発展	4	
彫刻・キャラクター造形必修	彫刻基礎演習1	演習	4単位 基礎	1	64単位
	彫刻基礎演習2	演習	6単位 基礎	1	
	彫刻基礎演習3	演習	6単位 基礎	1	
	彫刻演習1	演習	6単位 基礎	2	
	彫刻演習2	演習	6単位 基礎	2	
	彫刻演習3	演習	6単位 基礎	2	
	彫刻演習4	演習	6単位 基礎	2	
	彫刻演習5	演習	4単位 応用	3	
	彫刻演習6	演習	4単位 応用	3	
	彫刻演習7	演習	4単位 応用	3	
	彫刻演習8	演習	2単位 応用	3	
	彫刻研究1	卒研	4単位 発展	4	
	彫刻研究2	卒研	6単位 発展	4	
総合美術必修	生涯学習と社会教育	講義	2単位 基礎	1	64単位
	総合美術基礎演習1	演習	4単位 基礎	1	
	総合美術基礎演習2	演習	4単位 基礎	1	
	総合美術基礎演習3	演習	4単位 基礎	1	
	総合美術基礎演習4	演習	4単位 基礎	1	
	総合美術演習1	演習	4単位 基礎	2	
	総合美術演習2	演習	4単位 基礎	2	
	総合美術演習3	演習	4単位 基礎	2	
	総合美術演習4	演習	4単位 基礎	2	
	総合美術演習5	演習	4単位 基礎	2	
	総合美術演習6	演習	4単位 応用	3	
	総合美術演習7	演習	4単位 応用	3	
	総合美術演習8	演習	8単位 応用	3	
総合美術研究1	卒研	4単位 発展	4		
総合美術研究2	卒研	6単位 発展	4		
美術選択	アーティストマネジメント特論	講義	2単位 発展	3 4	

2026教育課程概要【美術科】

科目概要				履修時期		学修レベル		教育概要		目指す教育成果と到達度判断			学位授与方針(DP)との関連									
科目名	授業形態	単位数	区分	学年	学期	基礎	応用	発展	科目目的	到達目標	評価方法・手段	身につける能力要素										
												知識・理解	思考力	課題発見力	発想・構想力	表現力	倫理性	実行力	基礎学力	自己管理能力	人間関係形成力	
												270	50	120	120	150	130	190	70	80	120	
												7	2	4	3	3	3	7	2	3	4	
美術概論	講義	2	必修	1	前期	●			本科目では、美術科、そして5コースの概要について紹介することを通して、改めて本学で芸術を学ぶことの意義について考えます。また、分野を超えた今日的表現についても紹介し、専門の枠にとらわれず多様な表現を模索する姿勢を育むことを目的とします。	・本学、美術科5コースの特徴について理解し、自らの4年間の目標を明確にすることができる。(60%) ・他コースの表現や考え方、今日的な表現に触れ、多様性を感じる事が出来る(40%)	レポート	60		40								
美術素材学	講義	2	必修	1	後期	●			本科目では、美術制作で用いる素材に対する基本的な知識を得ることを主眼とし、作品制作での応用を促すことを目的としています。一般的かつ科学的に素材を理解することで、その素材の特性を生かした新たな表現形態や独自の表現方法について考える態度を身につけます。また、新しい素材を使用する際の使用方法や作品の保存についての知見を得ます。	・素材の基礎知識を身につけ、作品と素材との関係性を理解することができる。(40%) ・美術制作における道具の特性を理解し正しく使用することができる。(30%) ・新しい素材に対し自身でその特性を調べ、その適正を判断することができる。(30%)	・レポート ・取り組み姿勢	40					30		30			
近現代美術史	講義	2	必修	2	前期	●			本科目では、近現代美術史上重要な作家・作品・理論・動向の学習を通して、作家・作品と時代・環境の関係を学び、自身の制作における歴史的視点を獲得し、自らの制作に反映することを目的とします。	・近現代美術史の流れを理解し、その特徴について説明することができる。(40%) ・代表的な作品について、その歴史的背景を踏まえて論じることができる。(40%) ・授業で得た知識を、自身の制作に反映することができる。(20%)	レポート	40						20		40		
アート展示概論	講義	2	必修	2	後期	●			本科目では、作品の設置、道具の使い方をはじめとする搬入・設営・撤去の具体的方法から、企画の立案、企画書の執筆、スケジューリング、プレスリリースの制作など、展覧会制作にあたって必要な基礎知識・作法を一般的に学ぶことを目的とする。	・展覧会制作の流れを理解し、自らの実践に生かすことができる。(30%) ・組織的な運営、協働することができる(40%) ・道具を適切に扱い、安全に作品の設置をすることができる。(30%)	・レポート ・取り組み姿勢	30	30									40
アートキャリア論	講義	2	選必	3~4	前期	●			本科目では、これまで学んで身につけた力をどのように社会で生かすかを考え、多様な進路について理解を深めることを目的とします。専門の学びと社会との接点を見出し、他者と協働しながら新たな提案をする姿勢を身につけます。	・社会に芸術を生かす姿勢を持ち、自らのキャリアを具体的に思い描くことができる。(30%) ・課題に主体的に取り組み、学んで身につけた力を生かすことができる(50%) ・自分の考えを正確に伝えつつ、他者と協力・協働することができる(20%)	・プレゼンテーション ・レポート					30			50			20
アーティストマネジメント	講義	2	選必	3~4	前期	●			本科目では、アーティストとして生きていくための自己の歩むべき指針を考察し、プレゼンテーションまで実践することを目的とします。オムニバス形式の多彩な授業により、現在活動するアーティスト、キュレーター、ギャラリスト等の仕事から、アーティストと社会との関係性を学ぶことで、現代の美術動向を踏まえながら自身の作品を構築し、長期的な視野から美術の世界で生きていく方法論を自ら作り出す一歩とします。	・アートで生きるための基礎知識を身につけ、考え抜くことができる(20%) ・現代におけるアーティストの動向を理解し、柔軟な思考で自己を肯定的に展開することができる。(50%) ・アーティストの今と未来を考察し自立に向けた自己の将来を計画し発表することができる(30%)	・口頭発表 ・レポート				20			50			30	
美術基礎演習1	演習	2	必修	1	前期	●			本科目では、物事の本質を見つめる姿勢、さまざまな表現を探求する姿勢、そして、自分とは異なる考えを持つ他者から学ぶ姿勢を重視します。主体的に思考する力、多様なアウトプットを模索する力を高め、美術科の学生としてのマインドを身につけながら各コースでの学びを活性化させることを目的とします。	・さまざまな角度から思考し、表現を模索することができる。(50%) ・納得のいく表現に向けて粘り強く取り組むことができる。(20%) ・コースの異なる学生とも交流し、共に身近な協働作業に取り組むことができる。(30%)	・プレゼンテーション ・レポート ・取り組み姿勢						50		20			30
美術基礎演習2	演習	6	必修	1	前期	●			本科目では、これから美術を学ぶための糧となる基礎的な描写力と造形力の底上げを目的とします。デッサンと彫塑の体験を通して、視覚と触覚による2つの観察方法を複合的に学びます。デッサンでは、対象の形態・質感・量感をしっかりと見て捉え、物と物との関係性や構造を明確によって把握し、粘り強く画面に描き込むことで表現者としての基礎体力を培います。彫塑では、身体を通して直接的に塊を捉える力と立体的に対象を観察する力を養います。触覚を研澄させながら形態の確認を繰り返すことで、複合的な身体感覚を伴った形態把握の力を身につけることを目的とします。	・対象をしっかりと観察し、形態・質感・量感を捉えながら描写・造形することができる。(50%) ・粘り強く制作に取り組むことができる(30%) ・課題提出の期限が守れることや施設や共用の道具・機材を大切にできる。(20%)	・作品 ・口頭発表 ・取り組み姿勢						50		30			20
コミュニケーションデザイン	演習	2	必修	2	後期	●			本科目では、自己の作品と学びを他者に効果的に伝えるためのDTPスキルを身につけることを目的とします。将来のキャリアや自身の進路に合わせてポートフォリオを実際に活用する方法を学び、デザイン基礎とデジタルツール(Illustrator、Photoshop)の使用法、撮影技術の基本を学び、ポートフォリオ制作に向けた準備を行います。	・ソフトウェアの機能や用途を理解し、活用できる。(40%) ・ポートフォリオの役割を理解し、自身をアピールするための媒体を制作できる。(30%) ・コミュニケーションツールとして活用可能なデータ制作ができる。(30%)	・作品 ・プレゼンテーション	40					30					30
セルフプロデュース演習	演習	2	必修	2	後期	●			本科目では、自己プロデュースの必要性と具体的な方法について学び、実践へと繋げることを目的とします。自己発信する方法について考察・実践する能力の習得を目指します。	・プロデュースすべき自身について客観的に分析できる。(20%) ・自己発信について主体的に考察・実践することができる。(30%) ・社会に向けた視点で自己の将来を計画し、発信の観点から明確に説明することができる。(50%)	・プレゼンテーション ・企画書				20	30			50			
アートメディア演習A	演習	2	必修	3	前期	●			本科目では、専門を超えた多様なメディアにおける表現・技法を基礎から学び、幅広い知識や経験から、着目力・構想力を身につけ、進化し続ける表現のメディアに順応し挑戦できる姿勢を育むことを目的とします。今後の自己の表現の幅を広げ、総合的な表現力の向上を目指します。	・アートメディアの多様性を理解することができる。(30%) ・選択したメディアの特性を活かして表現することができる。(50%) ・制作プロセスを理解し主体的に成果へ導くことができる。(20%)	・作品 ・プレゼンテーション	30					50		20			
アートメディア演習B	演習	2	必修	3	前期	●			本科目では、専門を超えた多様なメディアにおける表現・技法を基礎から学び、幅広い知識や経験から、着目力・構想力を身につけ、進化し続ける表現のメディアに順応し挑戦できる姿勢を育むことを目的とします。今後の自己の表現の幅を広げ、総合的な表現力の向上を目指します。	・アートメディアの多様性を理解することができる。(30%) ・選択したメディアの特性を活かして表現することができる。(50%) ・制作プロセスを理解し主体的に成果へ導くことができる。(20%)	・作品 ・プレゼンテーション	30					50		20			
アーティストマネジメント	講義	2	選択	3~4	後期	●			本科目では、ゲストアーティストによる授業を通して、作品やプロジェクトの構想、リサーチ、遂行に必要なスキルを学びます。ジャンルに囚われない幅広い表現を行うアーティストと接することで、独創的/脱領域的な思考法を身につけることを目的とします。	・アーティストとしてのスキルと創造性を高め、専門に留まらない思考をすることができる。(40%) ・アーティストとしての作品やプロジェクトのアイデアを考え、それを具体的な行動に移すことができる(30%) ・プロジェクトマネジメントの要点を理解し、実践することができる。(30%)	・作品 ・取り組み姿勢 ・プレゼンテーション ・レポート						40		30			30

科目概要						学修レベル		教育概要		学位授与方針(DP)との関連																			
科目名	授業形態	単位数	授業区分	履修時期		基礎	応用	発展	科目目的	目指す教育成果と到達判断	到達目標	評価方法・手段	身につける能力要素 (3つまで選択可(4年必修科目は4つ以上可)・%の数値のみ記載・数値の合計は100%)																
				学年	学期								知識・理解	思考力	課題発見力	発想・構想力	表現力	倫理性	実行力	基礎学力	自己管理能力	人間関係形成力							
													240	20	190	235	200	70	175	10	110	50							
													6	1	5	6	5	3	5	1	5	3							
日本画基礎演習1	演習	4	必修	1	前期	●			日本画の制作は、「写生」を通して自然風景に向き合い、対象を把握することから始まる。この授業において、一連の工程の中で対象に向き合い、追求していくことで、「写生」の大切さを学ぶことを目的とする。また、日本画制作における画材の理解と基礎的な知識、技術、手順を理解、修得していくことを目的とする。	①〈想像力〉日本画制作における基礎的な知識、技術、手順を理解し、習得することができる。写生を通して自然風景を追求することができる。(50%) ②〈創造力〉習得した技術・技法を駆使し、日本画制作を行うことができる。(40%) ③〈社会性〉最終講評までのプロセスを想像し、計画的に制作を行うことができる。(10%)	作品提出 口頭発表 取り組み姿勢	50										10							
日本画基礎演習2	演習	6	必修	1	後期	●			日本画における基礎的な知識、技術、手順を理解し、制作を行う。動植物や人体というモチーフを通して生命の尊厳を尊重し、制作における基礎的な知識、プロセスを身につける。絵画制作における写生の重要性や下絵の考え方を学ぶことを目的とする。	①〈想像力〉写生を通して対象を追求する力、観察力を身につけることができる。日本画制作における基礎的な知識と手順を用い制作を行うことができる。(50%) ②〈創造力〉テーマ、コンセプトの重要性を理解し、自らの発想を表現していくことができる。基礎的な構成力と絵画造形力を身につけ、自己の視点を伝えることができる。(40%) ③〈社会性〉各研究会や講評会に於いて自らの言葉で作品を発表することができる。(10%)	作品提出 口頭発表 取り組み姿勢	50											10						
日本画基礎演習3	演習	6	必修	1	後期	●			金属箔・揉み紙の知識と、それらを用いた装飾表現を学び、各自の制作にて実践していく。また、日本画の技術、技法を用いて、自己の思想を表現する。長い年月をかけて培われてきた日本絵画の技法を今日の絵画に活用することを目的とする。	①〈想像力〉日本画における基礎的な知識、技術、手順を理解、修得することができる。(40%) ②〈創造力〉テーマ、コンセプトの重要性を理解し、自らの発想を表現していくことができる。基礎的な構成力と絵画造形力を身につけ、自己の視点を伝えることができる。(50%) ③〈社会性〉作品について自らの言葉で発表することができる。(10%)	作品提出 口頭発表 取り組み姿勢	40												10					
日本画演習1	演習	6	必修	2	前期	●			多様な基底材の中から板絵制作における実際の学び、素材の特性を活かした制作を行う。そして基底材への知識と理解を深め、個々の表現の拡張を目指す。日本画の画材について技術と見識を深め、今日の社会、環境に適合した新たな日本の絵画の可能性を考えることを目的とする。	①〈想像力〉日本画の素材、技法、様式への見識を深めることができる。歴史と伝統を踏まえ、今日の社会・環境に適合した新たな可能性を考えることができる。(40%) ②〈創造力〉(創造力)技法と素材の知識を深め、自らの発想・構想力を深めることができる。(30%) ③〈意志) 問題意識を持って制作、研究をやり遂げることができる。(30%)	作品提出 口頭発表 取り組み姿勢	40												30					
日本画演習2	演習	6	必修	2	前期	●			時代と共に変遷してきた日本絵画を俯瞰し、日本文化、日本建築から派生した「掛け軸」、「屏風」、「衝立」、「櫛」などの型式、様式を学び、今日の社会に活用出来る絵画を思考する。また、これまで学んできた西洋の「額装」と共に各々選択し、実際の展示空間へ展開させていくことを目的とする。	①〈想像力〉日本画の素材、技法、様式への見識を深めることができる。(30%) ②〈創造力) 技法と素材の知識を深め、自らの発想・構想力を深めることができる。(50%) ③〈意志) 生活様式に即して遷移してきた日本絵画を俯瞰し、今日の社会に活用出来る絵画を思考することができる。(20%)	作品提出 口頭発表 取り組み姿勢	30													20				
日本画演習3	演習	4	必修	2	後期	●			平安時代末期から鎌倉時代の模本を手本として古典に触れながら、模写及び臨写を行う。粉本の重要性を学びながら技法材料への見識を深め、今日の社会、環境に適合した新たな日本の絵画の可能性を考えることを目的とする。	①〈想像力) 日本画の素材、技法、様式への見識を深めることができる。歴史と伝統を踏まえ、今日の社会・環境に適合した新たな可能性を考えることができる。(60%) ②〈社会性) 完成までの計画を立て実行することができる。(40%)	作品提出 口頭発表 取り組み姿勢	30			30									40					
日本画演習4	演習	4	必修	2	後期	●			様々な古典絵画からの引用、着想をもとに日本画の制作を行ない、日本絵画への理解を深める。また、古典絵画の視点を理解し応用することで、自己の表現、技術を論理的に持って現代の表現として拡張していくことを目的とする。	①〈想像力) 古典絵画の視点を理解し応用することで、論理的を持って自身の表現を思考することができる。(20%) ②〈創造力) 技法と素材の知識を深め、自らの発想・構想力を深めることができる。(50%) ③〈意志) 生活様式に即して遷移してきた日本絵画を俯瞰し、今日の社会に活用出来る絵画を思考することができる。(30%)	作品提出 口頭発表 取り組み姿勢															20			
日本画演習5	演習	4	必修	3	前期	●			インターネット空間から情報を得、SNS社会に生きる私たちの表現として、あえて「画像」のみから制作を行い、「画像」を使用した日本画の可能性を考える。また、対話を通して作品の社会性や、自身を客観的に見ることで他者性を獲得し、各自の作品テーマと作品の強度を獲得することを目的とする。	①〈想像力) 自身にとっての課題を見出し、表現のための応用、プレゼンテーションをすることができる。(40%) ②〈創造力) 自ら課題を設定し、主題にふさわしい素材・技法・様式を用いることができる。(40%) ③〈意志) 作品の歴史性・社会的意義を検討し、外部に向けて作品を発表することができる。完成までのプロセスを具体的に想像し、計画的に制作することができる。(20%)	作品提出 口頭発表 取り組み姿勢																	20	
日本画演習6	演習	4	必修	3	前期	●			地域調査や作品制作のためのリサーチをベースにした自らの作品制作を行い、地域との対話や現場での写生を通して作品の社会性や自身を客観的に見ることで他者性を獲得し、社会との関わりを意識した自身のテーマと作品の強度を獲得することを目的とする。	①〈想像力) 自身にとっての課題を見出し、表現のための応用、プレゼンテーションをすることができる。(40%) ②〈創造力) 自ら課題を設定し、主題にふさわしい素材・技法・様式を用いることができる。(40%) ③〈社会性) 作品の歴史性・社会的意義を検討し、外部に向けて作品を発表することができる。完成までのプロセスを具体的に想像し、計画的に制作することができる。(20%)	作品提出 口頭発表 取り組み姿勢																40		
日本画演習7	演習	4	必修	3	後期	●			「日本画とは何か」という問いに対して、歴史的観点、研究者の視点、現代における日本画の立ち位置など、これまで学んだ様々な視点と、自身の主題に対する歴史性、社会性、時代性を意識した表現を思考し、社会的意義を考察することを目的とする。自己の思考を本画制作に反映させ、日本画について複合的に学びながら、それぞれの日本画に対する考え方を構築していくことを目的とする。	①〈想像力) 自身にとっての課題を見出し、表現のための応用、プレゼンテーションをすることができる。(50%) ②〈創造力) 研究テーマに相応しい素材・技法を駆使し、作品に反映させることができる。(20%) ③〈意志) 自身の作品と社会との関係を積極的に考察し、グループワークを通じた作品制作と共同作業を経験・実践することができる。(30%)	作品提出 口頭発表 取り組み姿勢																	50	
日本画演習8	演習	4	必修	3	後期	●			前期課題で習得した学びを活かし、社会を視野に入れた研究テーマを設定、作品に反映していく。また、絵画表現としての意義を見出し、制作プロセスを認識した質の高い絵画表現を実現する。プレ卒展としてアトリエ外の学外会場(悠創館)を使用し、展覧会を通して他者と協働しながら、外部に向けて作品を発表することを目的とする。	①〈創造力) 自身の主題に対する歴史性、社会性、時代性を意識した表現を思考し、社会的な意義を考察することができる。(30%) ②〈意志) 自身の作品と社会との関係を積極的に考察し、グループワークを通じた作品制作と共同作業を経験・実践することができる。(40%) ③〈社会性) 作品の歴史性・社会的意義を検討し、展覧会を通して他者と協働しながら、外部に向けて作品を発表することができる。完成までのプロセスを具体的に想像し、計画的に制作することができる。実践の現場において、臨機応変に立ち振る舞うことができる。(30%)	作品提出 口頭発表 取り組み姿勢																		30
日本画研究1	卒研	4	必修	4	前期	●			卒業制作を念頭におきながら技術、感性、思考をさらに深め、そのステップとなる実験的な作品制作やリサーチ活動を行い表現の幅を広げることを目的とする。また、現在の自己について想いを巡らせ、この地で育まれた思想を作品に結実させることを目的とする。	①〈創造力) 独自の視点とアイデアを形にし、他者へ提案することができる。(25%) ②〈意志) 研究テーマに対し相応しい素材・技法を用い、独創的な作品を作ることができる。(50%) ③〈社会性) 実践の現場において、主体的に計画を立て行動することができる。(25%)	作品提出 口頭発表 取り組み姿勢															25			
日本画研究2	卒研	6	必修	4	後期	●			4年間の集大成として卒業制作を制作する。自己と他者、自己と社会、自己と美術史など、自らの制作・思考を核にしながら、それが自分以外の世界に対してどのような可能性を持つか、自問自答に思考する精神を獲得することを旨とし、将来を見据えながら、今の時点での自己の表現を確立させることを目指すことを目的とする。卒業制作展企画及び運営に積極的に取り組むことを目的とする。	①〈創造力) 研究テーマに対し相応しい素材・技法を用い、独創的な作品を作ることができる。(50%) ②〈意志) 社会における芸術の役割を意識し、(絵画)表現に反映させることができる。研究テーマに沿った継続的リサーチ力と制作の完成力を身につけることができる。(25%) ③〈社会性) 実践の現場において、主体的に計画を立て行動することができる。展示・企画・運営において周囲と協働し、地域社会に貢献できる。(25%)	作品提出 口頭発表 取り組み姿勢(制作及び展覧会運営)																		50